

部会テーマ

「学ぶ力」を育てる学習指導の充実と評価の工夫

教科指導部会

はじめに

教科指導部会では、昨年度に引き続き「学ぶ力」を育てる学習指導の充実と評価の工夫というテーマで研究を進めてきた。昨年度は、学習形態（T・T や選択学習）を工夫すると学ぶことの楽しさや成就感を体得させることができることや、体験的な学習や問題学習的な学習を重視すると主体的に学ぶ意欲を身に付けさせることができることが明らかになってきた。

本年度は、研究をさらに深めるために、主に二つのことを中心に実践に取り組むことにした。ひとつは指導と評価の一体化を進めるために、児童一人一人の学習達成状況を指導目標や評価規準に照らして適切に把握し、今後の指導に生かすように努めること。そのためには、具体的な評価規準を各学校で設定し、授業実践を通して客観性妥当性を高めていくこと。ふたつめは、各教科の基礎基本の確実な定着を図る指導に努めること。そのために、身に付けさせたい基礎基本をどうとらえていくかを考えることである。

上記のことを踏まえて以下に示す方針のもと活動に取り組んできた。

- （１）各学校で学校課題を中心に研究する。
- （２）各学校の取り組みや指導案を紹介し、検討する。
- （３）評価についての工夫や問題点について話し合う。
- （４）基礎基本のとらえ方について話し合う。
- （５）研究の参考となる資料を提供する。

各学校から提供された指導案は、各教科で評価規準が明確にされ、評価の方法も展開の中に位置づけられて、より具体的な評価で一人一人の達成状況が把握できるものであった。基礎基本については、各学校でどうとらえるかということに問題点が多く、共通理解を図ることも課題のひとつのようだ。その中で、大平南中学校から提案された国語と社会の地理的分野における基礎基本を一覧表として提案されたものは、「身に付けさせたい力」を「どの場面で」「どのような方策で行ったらいいか」が明確にされていて、分かりやすいと好評であった。

ここに、各学校で実践した今年度の成果を、指導案と基礎・基本を分かりやすくまとめた取り組みについて掲載するものとする。

実践事例

大平東小学校	第４学年	国語科	教材名「無人島でくらすには」
大平南小学校	第６学年	国語科	単元名「言葉と文化について考えよう」
大平中学校	第２学年	音楽科	単元名
大平南中学校	基礎・基本のとらえ方		

- ・「確かな学力を身に付け」させるための国語科における基礎基本について
- ・中学校社会科【地理的分野】－課題解決的・作業的な学習における基礎基本の系統性